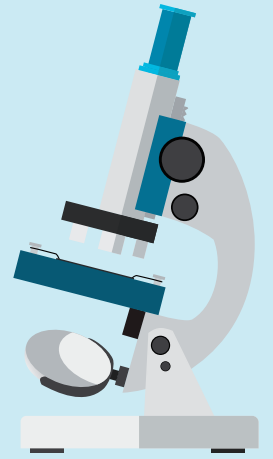


どんなび生物がいるのだろう？

び生物とは、けんび鏡^{きょう}でしか見ることのできない小さな生き物たちのことです。水再生センターの反応そう^{のう}の中にはたくさんのび生物がいます。び生物は下水にとけているゴミやよごれを食べて分解^{かい}し、よごれた水をきれい^{ほう}にしています。この方法は、薬ざい^{やさ}を使わないかん境^{ほう}に優しい方法です。



エプスティリス

(頭の長さ0.05mmぐらい)



たくさんつながってむれになっています。

ユーグリファ

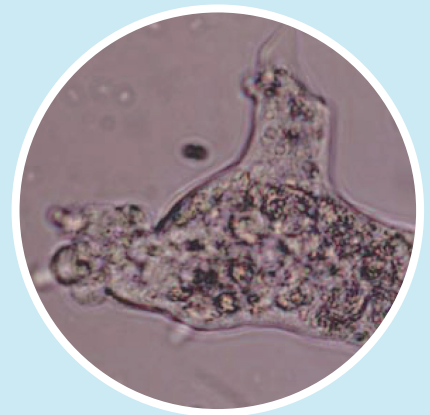
(0.05~0.1mmぐらい)



たまごの形をしたカラをもったアメーバのなかまです。

アメーバ

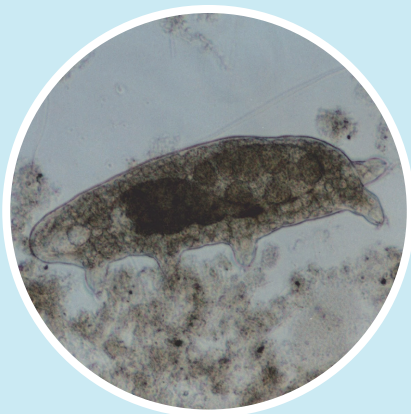
(0.05mmぐらい)



決まった形をしていません。体の形を変えながら移動します。

マクロビオツス

(0.5~1mmぐらい)



クマムシともよばれています。足が8本あり、つめがはえています。

ペラネマ

(0.05mmぐらい)



べんもうと言われる長い毛をもっています。向きを変えるときは、体を丸くします。

シャトノータス

(0.2mmぐらい)



イタチムシともよばれています。おしりが2つに分かれています。



下水道アドベンチャーWebサイトでは、動くび生物も見られるよ。
<https://www.gesuido-adventure.jp/zukan/>

